



# 発見! 甲賀の自然

～身近な甲賀の自然から、興味深い話題を紹介します～

## 第12回 甲賀市の木—スギ

スギはまっすぐに伸びる木ということから名前がついたといわれています。日本特産の常緑針葉樹で、日本では最も大きくなる長寿の木です。樹齢千年を超える木があるという屋久島に自生するヤクスギをはじめとして、各地の神社の御神木にもなっている名木、巨樹が多くあります。

甲賀市には甲南町岩尾池の一本杉(県指定自然記念物)、磯尾の岩附神社の夫婦スギや、上馬杉の油日神社、信楽町宮尻の大宮神社、土山町前野の滝樹神社、北土山の永雲寺、黒滝の惣王神社等たくさんのスギの名木があり、大切に見守られています。

スギは木材として建築材、器具類、土木、船舶材や酒樽などの広い用途があり、また樹皮は屋根ふきに、枝葉は線香の原料にと生活にかかせない木として、長い間親しまれてきました。有用な木として古くから各地で植林され、人工林では最も多く植えられている樹木です。縄文時代から身近な木であったスギは、各地の遺跡から丸木舟や柱、水田などの矢板として出土しています。

スギは2～3月に花が咲きますが、雄花は小枝の先にかたまつてつきます。1つのおしべの中に約3千個もの花粉がつくれ、1本の木から大量の花粉が飛散しますので、花粉症をひきおこし、この時期、辛い思いをされる方が増えています。花粉の飛散量は、雄花が育つ前年の夏の日照時間の多少

で決まります。手入れされた林の美しさ、尊敬の念さえわく巨樹。スギは身近で有用な甲賀の木です。



S. Jinnishi

▲スギの実(左)と雄花

問い合わせ **みなくち子どもの森自然館**

☎ 63-6712 ☎ 63-0466

3月の休園日

1日(月)、8日(月)、15日(月)、23日(火)、29日(月)

## 鳥獣害対策ニュース No.23

今回は獣害対策としての牛放牧について紹介します

### ●多面的効果のある牛放牧

近年、耕作放棄地は増加傾向にあり、野生獣にとつてのすみかとなつていることから、牛の放牧により耕作放棄地を解消する取り組みが全国的に広まっています。

農地や耕作放棄地で放牧することにより草を食べ、「舌」草刈りをしてくれます。これによって、人が草刈りをする手間が省けるだけでなく、牛が草を食べることで見通しがよくなることから、獣害対策にも大きな効果が期待されています。

### ●市内での実施例

甲賀町相模地区では、昨年8月から11月まで、耕作放棄地約1.4haにおいて和牛2頭の放牧が行われました。牛は滋賀県畜産技術振興センターから無償貸与され、周囲の電気牧柵等設置作業は甲賀地域獣害対策協議会と「相模丸ごと保全隊」が協同で行い、放牧期間中の水や補助飼料の補給は

保全隊が行いました。

放牧を行って以降、以前のよう野生獣による近隣の被害は激減するとともに、牛とふれあう地域の憩いの場にもなりました。



▲耕作放棄地に放たれる放牧牛の様子(相模地区)

### シカの個体数調整を実施

農林業被害の軽減を図るため、関係機関の協力のもと、昨年4月1日から11月14日までの許可期間内において実施し、494頭を捕獲しました。今年も実施しますので、ご理解、ご協力をお願いします。

### ○捕獲期間

3月16日～11月14日

問い合わせ **農業振興課 鳥獣害対策係** ☎ 65-0734 ☎ 63-4592